

まこと新聞

発行者
高島まこと
後援会長
明石 直大
龜山市辺法寺町
205
85-1744



3月定例議会一般質問

ご挨拶

皆様、こんにちわ 高島まことです。

今年は、暖くなるのが遅かったせいか桜の便りが例年より遅く感じましたが、皆様如何お過ごしですか？

私は、夢に向かって、目標を設定して、突き進んで参りたいと思います。

昨年3月11日東日本大震災や、9月には、東紀州地区で台風12号、15号による大水害があり、災害が多い年でも有りました。災害に遭われた方のご冥福をお祈りすると共に一刻も早い復旧、復興を望んでやみません。幸いにしてここ龜山市は、大きな被害もなく過ぎましたが、読者の皆様、油断禁物です。これから、いつ発生してもおかしくない東海、東南海、南海三連動地震に備えなければいけないと思います。

さて、今回のまこと新聞は、

～ 1 . 3月定例議会一般質問内容

～ 2 . 東紀州大水害からその後

3月12日(月)今回の一般質問として、

1 . 市職員人件費について

2 . 市道等維持管理工事補助金について

3 . 関ロジックについて

この3項目の質問内容について各項目別に詳しくお伝えしたいと思います。

高島：それでは、通告に従い質問させていただきます。

12月16日付(160号)広報かめやまの内容で職員人件費の記事が取り上げられていました。今の時点で、職員平均給与が、高いのか、安いのかを論じているわけでは有りません。人件費36億9685万円の内訳で、

一般職員平均給与33万0901円と有りますが、私が計算しますと、職員582人で単純に36億円から割りますと、実に931人分となります。どの様な計算式になりますか？

答弁：毎年12月に広報かめやまにて特集記事で広く市民の皆様にも市職員一般職人件費内訳をお知らせしている処です。基本給約33万円それにボーナス、それに職員手当等を足して一般職員283名で算出させて頂いた数字です。

高島：この表を見て間違っているとは言いませんが、やはりもっと解りやすく表現出来ないものでしょうか？例えば、期末手当の表現方法ですが、3.95ヶ月と有ります。36億から月収分12ヶ月とボーナス3.95ヶ月合わせて15.95ヶ月を33万円乗じて計算しても683人となり101人の誤差となりますが他に何が有るのですか？

答弁：人件費36億円の中には、一般職の他に市長、副市長、市議会議員皆様の報酬も含まれています。又、一般会計以外の企業会計や特別会計は含まれていません。そのため一般職員のみ給与では有りませんので36億から割っても合致しないと思います。

高島：平均給与33万円と円表示されていますが、期末手当、勤勉手当は3.95ヶ月と月表示して有りますが、どうして同じ表現にしていないのですか？

答弁：議員ご指摘の通り、3.95ヶ月と表示してあります。今後表現方法は、県や各市の内容をみて検討したいと思います。

高島：次に日当計算ですが、市の計算ですと1万6000円位になります。賞与を含めた金額を計算しますと2万2000円位になるのではないですか？また、記入方法ですが一般職平均月収33万円、ボーナス130万

円、市長給与 万円、市議会報酬 円合わせますと36億円になります。その様にもっと解りやすく出来ないですか？

答弁：ボーナス分を含めると日当2万2000円位になります。表記方法は、今後検討していきたいと思えます。

高島：次に市道等維持管理工事補助金についてですが、そもそも赤道(あかみち)とは、市のホームページで確認させて頂きましたら、法定外公共物と有ります。この赤道は地域の維持管理と設定されています。また、赤道の修繕は、原則として地元施工とし、必要な材料は市が支給し、災害以外では地元施工が不可能であっても市に於いては施工しないと記述してあります。従来より桜井市長が、街守り、街磨きとよく耳にしますが、今回の赤道は市が管理監督するのか或いは地元自治会がするのか責任はどちらに有るのかお聞かせください。

答弁：赤道の管理ですが、集落内の道路で有りまして道路法の適用を受けない法定外公共物と位置づけています。主に地域の皆様が利用されますので、地域で維持管理を行っていますが、災害により通行に障害が生じた場合や工事費が30万円以上の場合、市が施工するようになります。

高島：市長にお伺いします。物価版に依りますと一般及び特殊作業員の日当が13,100円、重機作業員15,800円に対し市の職員22,000円で赤道の修繕費の支給限度額年2回60万円と有ります。この支給限度額を変更する予定は有りますか？

市長：赤道につきましてはやはり地元の方が、維持管理していくのが基本だと考えます。しかし、災害等で地元施工が困難な場合は市が負担して参りました。支給限度額見直しですが、先題プロジェクト(裏面に続く)

の街守りの主旨として防災の観点或いは生活道路の改善とか行政として自ずと限界があります。それに伴い支給限度額見直しですが、現在の仕組みを考慮しますと適正に運営出来ると考えています。

高島：各地域から修繕費の見積が出て来ると思っています。常識範疇で人件費や重機代が高いとか出て来ませんか？

答弁：労務費と単価の件ですが、見積と云うことで自治会から上がって来ます。それに付きまして交付可否の判断を致しています。重機に付きましては、建設物価会が発行しています、物価版を参考にさせて頂いていまして妥当では無いかと判断しています。

高島：物価版は、全国平均となっていて、今後、市が発注します公共事業は、モデル事業に成るような金額も仕事もして頂きたいと思えます。

次に最後の質問 関口ロッジについてですが、指定管理に移行しようとしている聞きました。市長にお伺いします。

1. 名誉ある直接経営からの撤退。
 2. 不名誉な撤退。
 3. 公的経営の限界が感じた。
 4. その他 民間の力を取り入れたい。
- この4点で当てはまる項目はありますか？
- 市長：3番です。

高島：公的経営の限界が見えた。と云うことで理解出来ました。まず、一般企業であれば3年赤字が続きましたら撤退です。私が思いますのは、公営だから出来る事、公営しか出来ないこと、公営で無ければ成らないことが有ると思えます。その中でこの不況の中で民間にするのはどうかと思えます。立て直すならば、リニューアルをし、

皆様の理解を得て経営に乗り出し、財源は企業会計と成っております。公営の立場から行えば良いのかと思えます。その考えは無いのでしょうか？

市長：国民宿舎の事業は、昭和30年代に出来た事業です高度成長の時代と共にニーズの変化等で役割を終えたかと思えます。市議会から提言書も頂きました。民間の活力を得てその条件整備に入っていきたいと考えています。

高島：指定管理導入と云われますとお金を支払って管理をするのか、バーターでゼロにするのか、或いは箱物だけを貸すのかその3つの考えでいかなければ成らないと思えます。今後色々な意見を聞いて進めて行かなくてはならないと思えます。

東紀州大水害 からその後

昨年9月三重県東紀州大水害が発生し、半年が過ぎようとしています。その後の状況が気になり、仲間4人と復興、復旧状況を確認に行きました。結論から云いますと公共の部分は何とか復旧して来ていると思いましたが、大変残念なことに個人の土地建物に関しては、未だ手付かずの様な気がしました。災害当初は、見舞金や救援物資、又、ボランティアの皆さんの復興支援が有りましたが、月日が経つにつれ先細りなり、完全に風化して行った様に感じました。

くしくもその日は、紀勢自動車道の海山ICから北尾鷲IC迄、約6.1km開通の

日でした。その区間は無料で通行出来ます。

通行可能時間は15時でしたので、復路を走行して来ました。どうしてこの区間を先行で開通したかと云いますと 災害に強い命の道とタイトルが有ります様にこの近辺は、雨量が多く国道42号線がすぐに通行止めになり言わば陸の難所有り、防災の面でも地元の強い要望により先行で開通されました。



亀山市から180km約3時間半、ようやく紀宝町、熊野川の支流、相野谷川河口鮎田水門に到着しました。当時この辺りは、堤防の高さが9.4mに対し12.3mまで水位が上がった場所です。想像を絶します。国の撃震災害の指定を受け復興復旧支援に200億円の予算が下りました。この額は亀山市の年間執行予算とほぼ同額です。上流には、高岡地区の輪中堤が有り2階の屋根まで水没し、被災家屋22戸の内、現在住宅応急修理の申込みが7戸、内4戸完成したそうです。中にはこの地区を離れて引っ越しされた家庭も有ります。とても残念で成りません。保証金ですが、全壊ですと国から基礎支援金100万、加算支援金200万支給され半壊ですと、県や町から被災者生活再建支援金が有ります

が、焼け石に水です。もっと手厚い支援が必要だと強く感じました。

また、今年の稲作ですが、トラクターや田植機は水に浸かって使い物に成りません。農機具は、農家個人に対する支援は有りませんが、法人や集落営農組織等に対しては、県単事業により修理や購入の2/3(県・市町各1/2)の補助が有り、全体の7割が耕作出来る様に進めているそうです。

すぐ近くでは、休校中の明和小学校の隣で大規模な山崩れが発生し、土石流で新築の家屋が跡形もなく潰されてしまった方に話を聞く事が出来ました。県道や町道は、復旧され何とか通行出来る様に成りましたが、個人の家屋までは中々手が付けられません。大変な状況だそうです。

今回の大水害は、お隣の和歌山県も大きな被害を受け死者50名行方不明5名の被害を受けました。三重県は死者2名行方不明1名尊い命を奪われました。今回のような大水害を風化させてはいけません。

明日は、我が身・・・この地方ですと東海、東南海、南海3連動地震に備えなければ成りません。

